

39 新しい花粉飛散防止剤を開発



WebA°-ジ°

技術のポイント

「植物ホルモン(エチレン、ジャスモン酸、サリチル酸)を用いて、スギだけでなくヒノキとシラカンバの花粉の飛散も抑制する、即効性の高い方法を開発しました。花粉飛散直前の冬期に施用して効果が得られることも本剤の特徴です。本剤を施用することでスギの雄花を80%以上枯死させることに成功しました。本剤の施用には農薬登録が必要ですが、無花粉品種への植え替えが難しい社寺林や公園等での花粉飛散抑制効果が期待できます。

連携・橋渡しの方向

新しい花粉飛散防止剤の農薬登録取得と商品化にご協力いただける企業との連携を希望します。

詳細情報

- ・ YouTube「森林総研チャンネル」：<https://www.youtube.com/watch?v=3lgi09r6Uk4>
- ・ 特許：特開2023-174308

担当者

関西支所・市原 優



図1 開発した花粉飛散防止剤の効果

(左)新しい花粉飛散防止剤のサリチル酸ナトリウムを施用して開花前に枯死したスギ雄花、(右)施用せず通常に開花した対照のスギ雄花

■ 謝辞

本研究の一部は、(国研)森林研究・整備機構森林総合研究所交付金プロジェクト(課題番号202004)により実施しました。

本研究の一部は、JSPS科研費JP24K01820の助成を受けて実施しました。

本研究の一部は、林野庁補助事業「花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策のうち花粉飛散量の予測・飛散防止のうち花粉飛散防止剤早期実用化促進事業」により実施しました。

森林産業実用化カタログ2025



お問合せ先

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所
社会実装推進・知財戦略室

E-mail: sangaku@ffpri.affrc.go.jp

URL: <https://www.affrc.go.jp/sangakukan/index.html>